

(2)



(1,500円)

実用新案登録願

昭和49年12月17日 差出

昭和 年 月 日

殿

特許庁長官

1. 考案の名称 チリ墨 トリ取

2. 考案者

ナゴヤシキタクミズクサナコウチヨウメ ハンチ
住所 名古屋市北区水草町1丁目18番地 (ティネン工業株式会社内)
氏名 マツオカスケハル
松岡助春

3. 実用新案登録出願人

ナゴヤシキタクミズクサナコウチヨウメ ハンチ
住所 名古屋市北区水草町1丁目18番地
氏名 ティネン工業株式会社
(国籍) 代表者 佐藤直

4. 代理人

住所

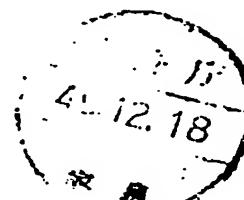
氏名

方式
審査

本件

5. 添付書類の目録

| | |
|----------|-----|
| (1) 明細書 | 1 通 |
| (2) 図面 | 1 通 |
| (3) 願書副本 | 1 通 |
| (4) () | 通) |



49-152942

明細書

1. 考案の名称

塗取

2. 実用新案登録請求の範囲

塗の取り入れ口 1 の接地部 2 を、外部 3 は円味を帯び内部 4 は V 字状の波形に形成し、接地部近辺の塗取 5 底面 6 には接地部に平行に緩かな山形 6 を形成してなる塗取。

3. 考案の詳細な説明

本考案は塗の取り残しを最小限におさえて塗を収容できる塗取に係るものである。

従来の塗取は帶を使って塗取内部に塗を収容する際、砂、ほこり等の微細な塗は塗取の取入口の接地部の厚み分だけ地上に残され、該部に 1 条の山成りの線を形成する。

取り残された該塗はなお 2 ~ 3 度帶を使って塗取内部に掃き入れるが満足にとりきれないのが現状である。

本考案はかかる不便をとり除き帶で 1 度塗を塗取内部に掃き入れるだけで満足すべき結果を得られるようになしたものである。

即ち図示した如く塗の取り入れ口 1 の接地部 2 を、外部 3 は丸味を帯

び内部4はV字状の波形を形成して、接地部近辺の塵取5底面6には接地部に平行に緩やかな山形7を形成してなる塵取5である。

本考案は以上のように構成されているので築によって集められた塵は塵取入口1に収集され収容されるに際し、微細な砂やほこりは丸味を帯びた取入口に沿ってV字状取入口の最凹部4に集合するが、地上1に残される塵は取入口接地部2の厚みの高さ分だけ点状に散在してわずかに残るのである。

従来の塵取において残る塵が塵取接地部厚み分だけ線状に残されるに比較してはるかに収容能力は高い。さらに塵取内部に収容された塵の砂やほこり等は塵取底面6に設けられた山形7を越えて収容されているため塵取接地部2の波形のV字状凹部4の隔間よりこぼれることがない。

なお取入口の接地部外部3を丸味に形成してあるのはごみのスムーズなV字状凹部への稼動をはかると共に清掃作業中の危険を避ける効果を有するのである。

また本考案による塵取は取入口1が波形のため意匠的効果も著しく、該塵取を使用する者は満足感、爽快感を得られ極めて付加価値が高い。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の概要図である。図中識別の取入れ口2は塵取接地部、3は該波形接地部外部、4は該波形接地部V字状凹部、5は塵取、6は塵

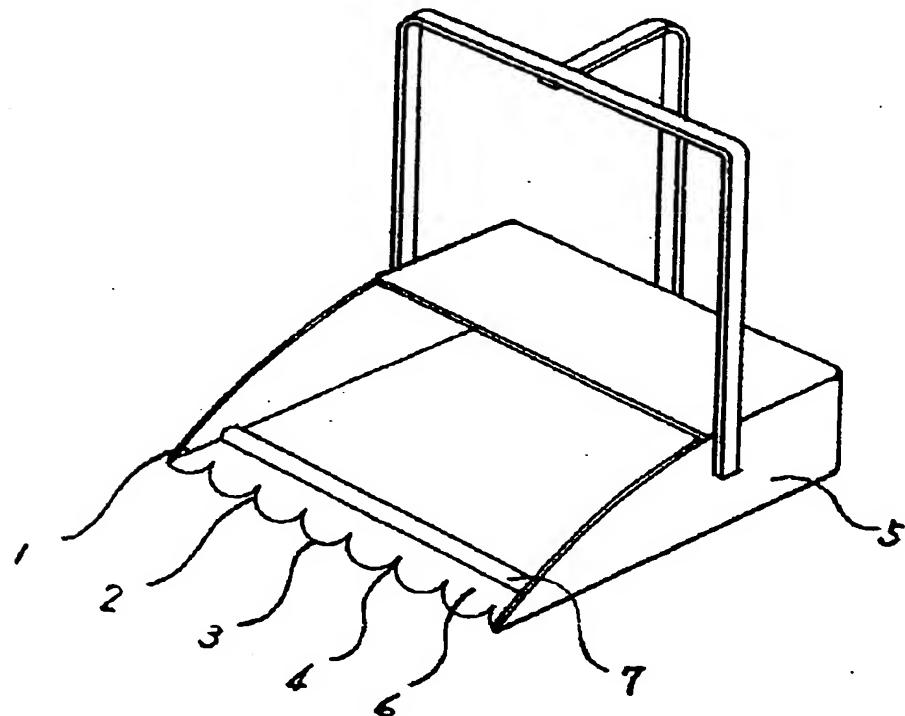
取底面7は塵取底面に形成した山形である。

実用新案登録出願人

ティネン工業株式会社

BEST AVAILABLE COPY

第 1 図



77882

実用新案登録出願人
アイネン工業株式会社